

(様式 1-3)

七ヶ浜町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 12 月時点

NO.	35	事業名	防災集団移転促進事業（花刈浜笹山地区）	事業番号	D-23-2
交付団体	七ヶ浜町	事業実施主体（直接/間接）	七ヶ浜町（直接）		
総交付対象事業費	8,218,000（千円）	全体事業費	7,452,343（千円）		
事業概要					
<p>東日本大震災の津波被害により、沿岸部を中心として甚大な被害が発生し、平成 24 年 5 月 21 日時点において、応急仮設住宅入居戸数 421 世帯、民間賃貸住宅のみなし仮設住宅入居戸数 202 世帯に加え、親せきなどに一時的に同居している世帯などを合わせ、多くの被災者の住宅復興が喫緊の課題となっている。</p> <p>平成 24 年 2 月に実施した、第 2 回居住意向調査（平成 24 年 5 月 25 日現在、対象世帯数 974 世帯のうち 966 世帯より回答・回答率 99.18%）によると、245 世帯（うち該当世帯 239 世帯）が高台住宅団地の希望を行っている。</p> <p>引き続き被災地に住むことが危険であると判断された非可住地域について、災害危険区域及び移転促進区域の設定を行った上で高台住宅団地の整備を行い、本町の住民が引き続き本町に住み続けられることを最優先に、地域コミュニティに配慮した住宅復興に取り組む。</p> <p>□花刈浜笹山地区防災集団移転促進事業高台住宅団地整備予定戸数（180 戸 第 1 回交付金 250 戸より 70 戸減）・造成面積：49,119 m<sup>2</sup> ※移転対象地区：菖蒲田浜地区の一部、花刈浜、汐見台南</p> <p>※平成 24 年 2 月に実施した第 2 回居住意向調査に基づき数が 250 戸から 180 戸に変更となった。なお、整備戸数は、平成 24 年 6 月に実施する「住宅復興に関する仮申込書」により確定するため、平成 24 年 7 月末までに集計し 8 月中旬に確定予定である。</p> <p>□災害危険区域設定予定面積・移転促進区域により被災地の買い上げを予定している面積 （町全体 災害危険区域設定予定面積：159.9ha・移転促進区域：44ha） 菖蒲田浜・花刈浜地区：59.8ha（移転促進区域予定面積：31.5ha）</p> <p>□事業内容（全般）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 住宅団地の用地取得造成費</li><li>(2) 利子補給</li><li>(3) 公共施設整備</li><li>(4) 移転促進区域の買い取り（被災市街地復興土地区画整理事業内の住宅地分含む）</li><li>(5) 移転費用等</li><li>(6) 施工監理 など</li></ol> <p>[参考]</p> <p>震災復興計画 P6-7 復興方針-コミュニティに配慮した地域復興 震災復興計画 P14-15 復興重点施策 4-地域コミュニティの再生と展開 震災復興計画 P18-29 復興まちづくりプラン</p> <p>（事業間流用による経費の変更）（平成 27 年 7 月 7 日） 移転住宅戸数の減少や移転促進区域の買い取り地の減少により、全体事業費 91,694 千円（国費 80,232 千円）が減額となり、D-22-1 都市公園事業（菖蒲田浜地区）へ 91,694 千円（国費 80,232 千円）を流用。 これにより、交付対象事業費は、8,218,000 千円（国費 7,190,750 千円）から 8,126,306 千円（国費 7,110,518 千円）に減額。</p>					

(事業間流用による経費の変更) (平成 27 年 10 月 14 日)

移転住宅戸数の減少や移転促進区域の買取り地の減少により、全体事業費 673,963 千円 (国費 589,718 千円) が減額となり、D-22-1 都市公園事業 (菖蒲田浜地区) へ 460,744 千円 (国費 403,151 千円)、D-22-2 都市公園事業 (表浜地区) へ 213,219 千円 (国費 186,567 千円) を流用。

これにより、交付対象事業費は、8,126,306 千円 (国費 7,110,518 千円) から 7,452,343 千円 (国費 6,520,800 千円) に減額。

#### 当面の事業概要

<平成 24 年度>

- ・用地買収 (高台住宅団地の全部・被災地の 25%)

<平成 25 年度>

- ・用地買収 (被災地の 75%)
- ・工事 (造成工事・公共施設整備工事)
- ・施工監理 (平成 25 年度工事に係る監理費用)

<平成 26 年度>

- ・工事 (造成工事・公共施設整備工事)
- ・施工監理

<平成 27 年度>

- ・住宅再建に伴う補助

#### 東日本大震災の被害との関係

本町は、東日本大震災による地震及び津波により甚大な被害が発生し、本町の 36% が浸水し、第 2 回居住意向調査時点において、全壊 674 世帯、大規模半壊 232 世帯となっている。

現在、地域・産業・都市基盤などの迅速な復旧にあたっているが、住宅復興や地域復興が復興施策における最優先事項となっており、防災集団移転促進事業により、住民の生活再建を早期に実現することが求められている。

#### 関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

#### 関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

#### 基幹事業との関連性

--

(様式 1 - 3)

七ヶ浜町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 12 月時点

NO.	23	事業名	都市公園事業 (菖蒲田浜地区)	事業番号	D-22-1
交付団体	七ヶ浜町	事業実施主体 (直接/間接)	七ヶ浜町 (直接)		
総交付対象事業費	283,412 (千円)	全体事業費	927,923 (千円)		
事業概要					
<p>七ヶ浜町震災復興計画前期基本計画に盛り込まれた復興重点施策「自然と共存するねばり強いハザード」や「町の文化を継承する美しい景観や街並み」の考え方にに基づき、防災林の整備による津波威力の減衰や漂流物などの捕捉効果を活用し、減災効果はもちろんのこと、自然と調和した景観に配慮したまちづくりを推進する。</p> <p>□津波防災緑地整備事業の概要(整備面積:7.1ha)</p> <p>被災都市公園の一部と、防災集団移転促進事業の移転促進区域として買い上げる被災地について、津波発生時に背後に位置する住宅団地の漂流物の捕捉や、避難路及び避難誘導施設との一体整備により沿岸部から迅速に避難できるなど、防災・減災のまちづくりを推進するため、津波防災緑地の整備を実施する。</p> <p>今回は、第1回、第5回交付金で承認された事業進捗を踏まえ、H26年度の実施設計、H27年度の工事費を要求するものです。</p> <p>都市公園 A ブロック 7.1ha</p> <p>(1) 菖蒲田浜 A (菖蒲田海浜公園 1.1ha・菖蒲田海浜公園南側 2.1ha・汐見台南下 1.1ha) 4.3ha</p> <p>(2) 菖蒲田浜 B (菖蒲田漁港) 2.5ha</p> <p>(3) 菖蒲田浜 C (区画整理地内) 0.3ha</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 27 年 7 月 7 日)</p> <p>H26 年度の実施設計が完了したため、H27 年度の工事費を要求するものですが、既配分の D-23-2 防災集団移転促進事業(花淵浜笹山地区)より 106,976 千円(国費 80,232 千円)を流用。</p> <p>詳細設計により精査し、交付対象事業費は 283,412 千円(国費 212,559 千円)から 390,388 千円(国費 292,791 千円)に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 27 年 10 月 14 日)</p> <p>既配分の D-23-2 防災集団移転促進事業(花淵浜笹山地区)より 537,535 千円(国費 403,151 千円)を流用。交付対象事業費は 390,388 千円(国費 292,791 千円)から 927,923 千円(国費 695,942 千円)に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;(第 1 回交付済)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・計画策定</li><li>・実施設計(一部)</li><li>・文化財調査</li></ul> <p>&lt;平成 25 年度&gt;(第 5 回交付済)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現況測量、地質調査</li><li>・実施設計(一部)</li><li>・工事(一部)</li></ul> <p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施設計</li></ul> <p>&lt;平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本工事(諏訪前・汐見台南)完了</li></ul>					

<平成 28 年度> (今回流用対応)

- ・本工事 (菖蒲田海浜公園・菖蒲田海浜公園南側・菖蒲田漁港緑地)

東日本大震災の被害との関係

本町は、東日本大震災による地震及び津波により甚大な被害が発生し、本町の約 36.4%が浸水し、平成 25 年 1 月 1 日現在において、全壊 678 世帯、半壊 310 世帯となっている。安全で安心な津波に強いまちづくりを実現するため、沿岸部の背後に位置する住宅地の津波漂流物の捕捉など、発災時における津波減衰機能として、津波防災緑地の整備が求められている。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

七ヶ浜町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 12 月時点

NO.	24	事業名	都市公園事業 (表浜地区)	事業番号	D-22-2						
交付団体	七ヶ浜町	事業実施主体 (直接/間接)	七ヶ浜町 (直接)								
総交付対象事業費	347,300 (千円)	全体事業費	596,056 (千円)								
事業概要											
<p>七ヶ浜町震災復興計画 前期基本計画に盛り込まれた復興重点施策「自然と共存するねばり強いハザード」や「町の文化を継承する美しい景観や街並み」の考え方に基づき、防災林の整備による津波威力の減衰や漂流物などの捕捉効果を活用し、減災効果はもちろんのこと、自然と調和した景観に配慮したまちづくりを推進する。</p> <p>□津波防災緑地整備事業概要(整備面積:5.5ha)</p> <p>防災集団移転促進事業の移転促進区域として買い上げる被災地と本事業により買収する用地を活用し、津波発生時に背後に位置する住宅団地の漂流物の捕捉や、避難路及び避難誘導施設との一体整備により沿岸部から迅速に避難できるなど、防災・減災のまちづくりを推進するため、津波防災緑地の整備を実施する。</p> <p>今回は、第1回、第7回交付金で承認された事業進捗を踏まえ、H27年度の工事費を要求するものです。</p> <p>都市公園Bブロック</p> <p>(1)表浜地区 5.5ha</p> <table><tr><td>B-1-1</td><td>表浜海浜公園</td><td>5.0ha</td></tr><tr><td>B-1-2</td><td>割山</td><td>0.5ha</td></tr></table> <p>(既配分額にて対応) (平成27年7月7日)</p> <p>H26年度の実施設計が完了したため、H27年度の工事費を要求するものですが、既配分の文化財調査費が調査不用となったことから、文化財調査 301,000千円(国費225,750千円)から、H27年度の工事費(工事監理含む)として258,765千円(国費194,073千円)を支出する。</p> <p>詳細設計により、全体事業費は736,166千円(国費552,124千円)から596,056千円(国費447,042千円)に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成27年10月14日)</p> <p>既配分のD-23-2 防災集団移転促進事業(花淵浜笹山地区)より248,756千円(国費186,567千円)を流用。交付対象事業費は347,300千円(国費260,475千円)から596,056千円(国費447,042千円)に増額。</p>						B-1-1	表浜海浜公園	5.0ha	B-1-2	割山	0.5ha
B-1-1	表浜海浜公園	5.0ha									
B-1-2	割山	0.5ha									
当面の事業概要											
<p>&lt;平成24年度&gt;(第1回交付済)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・計画策定</li><li>・実施設計(一部)</li><li>・文化財調査</li></ul> <p>&lt;平成26年度&gt;(第7回交付済)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・測量(現況測量)</li><li>・実施設計</li></ul> <p>&lt;平成27年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本工事(表浜緑地・割山緑地)</li></ul> <p>&lt;平成28年度&gt;(今回流用対応)</p>											

・本工事（表浜緑地）完了

**東日本大震災の被害との関係**

本町は、東日本大震災による地震及び津波により甚大な被害が発生し、本町の約 36.4%が浸水し、平成 25 年 1 月 1 日現在において、全壊 678 世帯、半壊 310 世帯となっている。安全で安心な津波に強いまちづくりを実現するため、沿岸部の背後に位置する住宅地の津波漂流物の捕捉など、発災時における津波減衰機能として、津波防災緑地の整備が求められている。

**関連する災害復旧事業の概要**

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

**関連する基幹事業**

事業番号	
事業名	
交付団体	

**基幹事業との関連性**

--

(様式 1-3)

七ヶ浜町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 7 月時点

NO.	67	事業名	都市公園事業 用地買収事業 (菖蒲田浜・表浜地区)	事業番号	D-22-3
交付団体	七ヶ浜町	事業実施主体 (直接/間接)	七ヶ浜町 (直接)		
総交付対象事業費	154,328 (千円)	全体事業費	154,328 (千円)		
事業概要					
<p>平成 23 年 11 月 8 日に策定した、七ヶ浜町震災復興計画 前期基本計画に盛り込まれた復興重点施策「自然と共存するねばり強いハザード」や「町の文化を継承する美しい景観や街並み」の考え方にに基づき、防災林の整備による津波威力の減衰や漂流物などの捕捉効果を活用し、減災効果はもちろんのこと、自然と調和した景観に配慮したまちづくりを推進するため、今回、D-22-2 で要求する都市公園整備事業の実施に伴い必要となる移転促進区域以外の津波防災緑地用地の買収を行うものです。</p> <p>□津波防災緑地整備事業概要(整備面積 : 5.9ha) 防災集団移転促進事業の移転促進区域として買い上げる被災地と本事業により買収する用地を活用し、津波発生時に背後に位置する住宅団地の漂流物の捕捉や、避難路及び避難誘導施設との一体整備により沿岸部から迅速に避難できるなど、防災・減災のまちづくりを推進するため、津波防災緑地の整備を実施する。</p> <p>(1)表浜 整備面積 5.9ha 津波防災緑地として買収する面積 3.5ha</p> <p>[参考] 震災復興計画 P6-7 復興方針-津波に強いまちづくり 震災復興計画 P8-9 復興重点施策 1-自然と共存するねばり強いハザード 震災復興計画 P30-31 防災・減災まちづくりプラン</p> <p>(既配分額にて対応) (平成 27 年 7 月 7 日) 既配分の表浜地区の用地買収面積が計画見直しにより減少したことから、表浜地区分として既配分されている 154,328 千円 (国費 102,885 千円) より菖蒲田浜地区分の用地買収費として 3,053 千円 (国費 2,035 千円) を充てる。事業費増減は無し。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 26 年度&gt; (第 7 回採択分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・測量 (用地測量)</li><li>・用地買収費 (表浜)</li></ul> <p>&lt;平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・用地買収費 (菖蒲田浜・表浜)</li></ul>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>本町は、東日本大震災による地震及び津波により甚大な被害が発生し、本町の約 36.4%が浸水し、平成 25 年 1 月 1 日現在において、全壊 678 世帯、半壊 310 世帯となっている。安全で安心な津波に強いまちづくりを実現するため、沿岸部の背後に位置する住宅地の津波漂流物の捕捉など、発災時における津波減衰機能として、津波防災緑地の整備が求められており、効果を発揮するために必要な都市公園事業 (津波防災緑地) により整備を行うため必要となる用地買収を行うものです。</p>					

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	